11月27日 日曜日 26日発行
昭和30年 西暦1955年
内外タイムス社

第3291号 （昭和24年6月27日第三種郵便物認可）
（中央郵政局承認第637号新聞紙・内容内閣総理大臣指定第0139号）

天気予報 今晩 北の風晴れ 明日 北の風晴れ

"補正予算組まぬ"

首相了承 地財の赤字埋めに

一万田蔵相は二十六日午前八時五十五分音羽の私邸に鳩山首相を訪ね、約十五分間用談した。蔵相はこの会談で当面最大の課題である三十年度地方財政の赤字処理対策、公務員の年末手当問題をはじめ明年度予算の編成についての方針を説明して首相の了承を得た。次のように語った。『一万田君から地方財政の赤字について関係閣僚が折衝した経過をきいたが、一万田君は補正予算は組めないといっていた』

赤字対策を協議 知事会議

全国知事会議は二十六日午前十時から九段の都道府県会館で開かれ、三十年度地方財政赤字対策について協議した。この会議は二十八日の地方財政確立期成全国大会に備えて開かれたもので、知事会としては交付税率引上げ一本で臨むことを再確認するとともに大会に提出する議題、宣言、決議などの案件について協議した。

なおこの日の会議には太田自治庁長官も出席してあいさつをのべた。その際、知事会は同長官に対し、納得のいく赤字処理、地方公務員の年末手当増額支給の財源確保の二点について善処を申入れた。

借款は民間で

三相一致 日比賠償で再折衝

重光外務、一万田大蔵、高碕企画庁長官の三相および谷外務省顧問は二十六日午前十一時十五分から外務省で日比賠償問題について協議した。この日の会合は政府の態度決定に先だち今後の方針について協議したもので、新党の『平和条約の精神、対ビルマ賠償との均衡日本の支払い能力など十分考慮して妥結を図る』との緊急政策にもとづき、純賠償の内容一本化、長期借款の純民間化などの線でフィリピン側と再折衝することに三相間の意見一致をみたもようである。

【写真は日比賠償で会談する（向って右から）高碕企画庁長官、重光外相、一万田蔵相】

来月早々分担金問題で折衝

根本長官談

根本官房長官は二十六日正午の記者会見で防衛分担金問題について次のように語った。

防衛分担金問題について防衛関係閣僚懇談会を開く前に予め重光外務、一万田大蔵、船田防衛の三閣僚の間で意見を調整するよう頼んでおいた。米側との折衝は予算編成の関係から十二月早々に始めないと時間的に間に合わないから、そのつもりで意見のとりまとめを急がなければならない。

森知事、首相を訪問

滋賀県知事森幸太郎氏は二十六日午前八時半音羽の私邸に鳩山首相を訪ね懇談した。

超大型の水爆実験

米が来春 太平洋で

【ワシントン二十五日発ロイター＝共同】米上下両院原子力委員会のアンダーソン委員長は二十五日ロイター通信記者にたいし『米国は来春太平洋で大規模な水爆実験を行う計画である』と語った。

……ある。この実験の中にはTNT火薬数百万トンクラスのもの（ソ連が最近行った水爆はこのクラスに入る）から、大きいものは昨年三月のビキニ水爆を上回るものまで含まれると考えられている。

非公式推定によると昨年のビキニ水爆の威力はTNT火薬千二百万トンないし二千万トンに相当するものであったとみられている。

水素＝ウラン爆弾か

ソ連の核爆発実験

【ロンドン二十五日発AP＝共同】英誌ニューズ・クロニクルは二十五日、最近ソ連が行ったと伝えられる核爆発実験は『水素＝ウラン爆弾』ではないかと次のように報じている。

英国のジェット機は二十四日高度一万五千フィートのところでソ連が行った核兵器実験の際生じた放射性降下物"死の灰"を採取した。ソ連当局はシベリアの演習場で実験を行うに当ってイングランドとウェールスをあわせた地域の約二倍の広さを立入り制限区域としなければならなかった。英国の原子科学者はこの"死の灰"を検討した結果、これは普通の水素爆弾より破壊力の大きい水素＝ウラン爆弾ではないかと信じている。

政界春秋

緒方氏ご用心の事

木村儀兵衛

保守新党はできた。第三次鳩山内閣は成立した。党役員、大臣、政務次官の顔もそろった。国会機構の役職員も整備されつつある。かくして臨時国会、引続く通常国会に、船を乗り入れるのである。

私はここで、保守合同の声が起って二年緒方竹虎が"らん頭の急務"を叫んで八ヵ月、自由民主党二百九十九名の大勢力に至った現実を、一応点検する必要があるように思われる。

これから五、六ヵ月たって、総裁公選が行われる。緒方はただ一途に"筋を通す"ことを選二無二押してきたが、公選には成功したようなものである。世間の常識では、鳩山一郎の次に緒方が総裁・総理になるだろうと思い、緒方自身も"今度はわが番に目が出る"くらいに、気軽に考えているかも知れない。

ところが二百九十九名の大党となった現在でも、その点少しも解決していない。休火ではあるが、たちまち活火山に変ずる不気味な様相を呈している。三木武吉、岸信介も代行員の発足で緒方に対する過去の義理は消え、白紙に還ったとみてよい。河野は池田を相手に引っかけてまで少しも整理されていないので、えて、公選は実行するが、その時は緒方だと誰もいっていない。これは緒方の不徳ではなく、事実である。選挙だから誰が立候補してもよいということはない。

緒方はもちろん岸も石橋湛山も池田勇人も自から立ち、ひいては彼らのために情熱を燃やそうという者も残り少くなった。鳩山、緒方だけが有力候補とは限らないのである。

佐藤栄作と池田とは組むだろう。佐藤は党員でなくとも、その実力は自由民主党内に伸びている。佐藤、池田の同志運はこの二人をクッつけて離さず、将来"アンチ緒方"の線（岸あたり）に結ばせようとしている。

鳩山の健康が相変らず持続されれば、鳩山と緒方はモウ一度斬り結ぶ運命におかれるだろう。チエ者も多いから、出来たばかりの大政党をブチ割らないようベストは尽されるだろうが、二つにも三つにも割れそうな要素は多分にあり、感情は割れたまま少しも整理されていないのである。長い間合同問題のいきさつで、特に感ぜられたことは、いざという時、代議士の多くが中立地帯に逃げることである。

選挙に際して、党の公式出費（公認料）は別にして、百万、五十万と、特定人から特定人に支援されればある程度いうこともきくが、平生二十万円程度の力を貸したくらいで、一人の代議士を完全に左右することは出来ない状態である。向う三軒両隣りのよしみを結ぶくらいな軽い効果はあろうが、親分子分的な仁義には役立たない。昔からそうだったが、この傾向はますます甚だしい。要するに代議士族は、常に動乱を好み、ゼニを使わせたい者が、年中絶えないということだ。（敬称略）

自分の味方に加えようとアノ手コノ手を使っている。旧改進系では重光葵に魅力なく、三木武夫は実体が暴かれ、松村謙三は個人としての信用を保つくらいで、彼らのために情熱を燃やそうという者も残り少くなった。岸自身は幹事長の立場もあり、慎重を加えるだろう。

次の第一面小説

近く連載開始！

女豹の群

池田みち子 作
高沢圭一 画

池田みち子氏
高沢圭一画伯

第一面掲載の大林清氏作『青春無宿』は好評のうちに近く完結いたします。続いて本紙にはすでに『桃色横丁』『老嬢クラブ』を連載して好評を博した池田みち子女史が登場、現代に生きる女の生態を描いた『女豹の群』を執筆いたします。池田女史は異色ある女流作家で、最近力作『現代の陥穽』を発表して、文壇に大きな話題を投じたことはすでに読者の皆様もご承知のとおりであります。女史の作品は現代の男女の生き方に新らしいモラルを創造し、そのテーマは独得、描写は大胆で、しかも女らしい繊細な感覚にあふれております。今やあぶらの乗りきった女史の作品は文学的にも新聞小説としても、必ずや輝やかしい金字塔をうち立てることと信じます。挿絵は流麗な筆致で定評のある高沢圭一画伯が担当、一層の彩りを添えます。何とぞ御期待下さい。

作者のことば

戦争で男が足りなくなって、数の上での男女のアンバランスが、いろんな問題を起した。結婚にあぶれた娘、また、零号夫人等々。世間の紳士方は、女の数が多いということで、女は誰でも結婚したがっており、一人の女を選んで妻にするのは、恩恵をほどこすことだ位に自惚れやすい。ところが、結婚を拒否する女たちが、世間にはいるし、これからますます多くなりそうなのを御存じだろうか。戦前の独身主義は清教徒的潔癖さからであった。が、昭和三十年の独身はそうでない。かってギリシャでは、身許の正しい婦人たちが、好んで娼婦の群へ身を投じたと伝えられる。私は彼女たちの華やかで、たくましい、謎多い生態を描きたい。

サッソク新大臣 ④

郵政大臣 村上勇氏

抱負・経綸は二の次

大野センセイ様々で終始

○…有田二郎、神田博両氏とともに大野派三羽ガラスの一人。建設か運輸をねらったが、結局郵政に落着いた。『大野先生がネ、君は郵政あたりが一番いいだろうっていうんだ。初めて大臣をやる場合、比較的問題の少い安全地帯で出発させ、失敗させたくないという大野先生の親心だよ。よっぽど僕が可愛いんだネー』と、大臣にしてくれた"親分"の"御厚情"にキョウクン感激している。『大野センセイ』でなければ夜も日も明けない浪花節的な義理、人情に厚い大臣である。

○…『僕はつまり大野センセイの分身だよ。世間じゃ大野センセイは古いとか何とかいわれるが、あの人ほど感覚の新しい人はないと思ってるんだ。当意即妙、実際感心するよ。政治が知性や知識だけだったら大学総長が一番適任だが、実際はそうはゆかない。政治は学問の外だ。やっぱり大野センセイのような存在が必要なんだよ』と『大野センセイ』を既に六回も乱発した。そこで話題を変えて、『趣味は何ですか？』ときくと『碁と小唄だ。ところが大野センセイが落着いていてジックリ構えられたら二目置いてもかなわんネ』

○…新大臣だから抱負の一つでも――というわけで『郵政政策の抱負は？』ときいたら『まだ何も聞いてないから何ともいえないよ。これからジックリ勉強するが、キミ郵政とはいいとこへ来たよ。タダで宣伝できるからネ。これも大野センセイのお蔭さ』同行のカメラマンが『大臣チョット笑って下さい』と注文をつけると『イヤ、僕はどうも大野センセイのように豪快に笑えないんだ。ハッハッハ』『イヤそっくりですよ』『そうかい。有難う、有難う』

粋人酔筆

物真似

石黒敬七

物真似といえば、この世の万象悉くが物真似に関連しているといえようが、そんな広い範囲でなくて、ごく手近の所を見ても、物真似というものからは、多分のユーモアが感じられるものが多い。声色（こわいろ）など要するに役者の物真似だが、テレビやラジオの声帯模写もなかなかユーモラスなものだ。中には本物と思ってきいていたら、後で声帯模写であって大笑いをしたなどということはいくらもある。

この頃は余り出なくなったが、大辻司郎君の声真似は、のど自慢によく出て、生前はもちろん、死後もかなり長く続いたものだが、うまくやる人がかなりいた。

声帯模写というよりは、やっぱり物真似であろうが、この頃よく、テレビなどで声帯やらゼスチュアを引っくるめて真似をするにうまい人を、何人か見受ける。中にはあんなにうまいなら、何も人真似をしなくとも、自分の芸とし、一つだけに決めて売出したらよさそうだと思う場合さえある。

そういう時、僕はよく、人の口真似のうまい鳥を連想せざるを得ない。オーム、インコ、文鳥などにはなかなかうまいのがいる。『お早よう』とか『今日は』『モシモシ』くらいのは珍らしくはないが、中にはもっと凄いのがいる。自慢じゃないが、僕の家内の実家に三十二、三年来飼っている『太郎』という黄羽インコーは頗るの優物だ。

まず電話がかかる。チリリリとベルが鳴る。受話器を耳に当てた頃合いを見計って『アアもしもし』『さようでございます』と

やる。たまたまその人が電話器の側にいて一回目のベルで、受話器を耳に当てた人などは面食ってしまう。この太郎の一ばんの得意は『夕焼け小焼けで日がくれて』と『ハトポッポ』と『モシモシ亀』をほとんど覚えていて、うんと機げんのいい時には、これらを歌うのである。もう三十何才であるから十代の時ほどは歌わないようだが、その音階は正確で、とんちの替歌の時の二、三の生徒（僕もその一人だが）の如き音痴ではない。

そのほか、自分の名前を『タロー』『タローさん』と二つに分けていう。『ハハハハ』ととときどき哄笑する。『お父さん』『お母さん』『花子さん』（妹の名前）その他家族の笑い声を区別して笑うこともある。その他『今日は』『太郎さんハトポッポ歌ってちょうだい』『おめでとう』『お早よう』『モシモシお電話でございます』など随時やる。電話のベルの時はたいてい『モシモシお電話でございます』をやる。それ以外自分自身本来の鳴声もやる。

毎日、家族と同じ飯をくっている。特に水はやらない。ときどき、くるみ、麻の実などをやると非常に喜ぶ。ただ余りやり過ぎると気が荒くなってギャーギャー鳴くのでうるさい。

戦時中、僕が三越の小鳥部へ行って麻の実をわけて貰った時に、そこの主任が『黄羽インコーも今ではとても珍らしくなりました。声色一言ごとに千円増しという相場ですが、そんなに知ってるなんてごく稀れですね。へタな人間より値打がありますね』と笑っていたことがある。

文鳥もよく喋り、インコーと同じくよく人に慣れる鳥だ。よく慣れるといえばこんな話がある。僕のエジプト訪問の時だから、さよう二十数年前だが、アレキサンドリア総領事館にいた角野君にこの間久々で会った時、たまたま家庭談に花がさき、『奥さん元気？』と問うたところ『家内はこの所はなはだユーウツである』という。その理由を訊ねたところ、角野君の家（川崎市北加瀬）でここ七ヵ月飼っていた生後一年の灰白色の文鳥『ピコ』が、さる十四日に飛び出したまま、今だに帰らない。よく人に馴れていたので、どかの家へ迷って飛込み、そのまま返す家が判らずに飼われているのではないか。そのため家内も子供も家族の一人を失ったように元気がないという。僕は『いやカラスでさえ慣らせば戻ってくるそうだから、その文鳥も近いうちにきっと戻るだろう』と慰めておいた。そのピコが戻ったら子供達もどんなに喜ぶことだろう。

【写真は黄羽インコーの太郎＝石黒敬章君撮影】

仏、国連復帰へ

【ニューヨーク二十五日発UP＝共同】国連総会は二十五日正午から本会議を開き同日午前中に行われた政治委員会の決定にもとづきアルジェリア問題を総会の議題から外すことに満場一致で決定した。これにより仏は国連に復帰するとみられる。

韓国に報復措置をとれ

池田氏 首相に進言

自民党の池田副幹事長は二十六日午前十時半音羽の私邸に鳩山首相を訪ね、李ライン侵犯船撃沈に関する韓国の声明に対し、日本側も何等かの報復措置をとる意向のあることを明らかにすべきであると進言し、首相の了承を求めた。会談のあと池田氏は次のように語った。

これから重光外相と李ライン問題で話合うが、衆議院としても同問題に対する経済断交などの日本側の断固たる態度を表明すべきだと思う。このため来週中にも衆院外務委員会を開く考えである。

市況

弱保合

ダウ四百円台割れからさすがに売物一巡模様となったが、休日を控えて大証券も買物を見送っているので市況は活気に乏しく全般は閑散低調な弱保合商状であった。特定株は地合不良からほとんど小安くしまったが、引け際地所がまばらの押目買に二円方小戻したのにつれて全般も下渋りの振合となった。雑株は十一月決算六十六社の配当落などあって見送り人気強く、大部分一―三円巾の小動きにとどまったが、三井不、藤田興、積水化学など品薄株に小口の押目買がみられて八、九円方高くその他も概して落付き模様となった。出来高概算五百万株。

▽高い株＝積水化学九円、三井不、藤田興八円、組化成五円、栗林船、松尾鉱、東宝、カルピス四円

東京株式仲値

□新株落 △配当落（26日終値）

特定銘柄	
東海上	234
郵船	62
新三菱	81
日清紡	249
味の素	288
三越	271
三菱地	461
平和不	209
日東化	100
日産化	86
三菱化	119
三井化	161
協和醱	141
東合成	147
三共薬	167
信越化	91
東高圧	156
昭電工	115
日本曹	108
旭電化	88
三菱造	99
三井造	131
三菱重	66
石川重	96
精工	138
東洋ベ	124
日立造	64
浦賀	64
日本光	136
キヤノ	160
理研光	54
三菱電	83

銘柄	値
日立	77
東芝	67
三洋電	275
松下電	157
八電	173
東洋紡	161
鐘紡	128
富士紡	120
大日紡	85
日東紡	69
片倉	29
東邦レ	127
帝麻	37
中織	43
帝人	160
東洋レ	212
三菱レ	136
倉レ	133
旭化成	393
山陽パ	143
日本パ	118
国策パ	137
東北パ	128
日毛	228
帝石	91
日石	110
昭和石	160
東燃	148
三菱石	147
大協石	151
三井金	107
三菱金	113
日鉱	108
住友金	112

銘柄	値
三菱鉱	50
古河鉱	76
同和鉱	138
住友炭	60
三井山	59
北海炭	64
日鉄鉱	380
商船	46
三井船	49
西武	370
藤田興	214
飯野海	63
日銀	—
東銀	55
三井銀	74
富士銀	88
日証金	68
安田火	93
大正海	85
住友海	79
千代田	74
東電	612
関西電	669
鋼管	85
日製鋼	72
八幡	61
富士鉄	56
神戸鋼	58
日特鋼	105
日軽金	159
日金工	82
日本粉	129
日清粉	125
日本ビ	166
朝日ビ	183
キリン	201
宝酒造	125

銘柄	値
台糖	263
明糖	119
甜菜糖	116
野田	201
森永	179
明菓	173
日水産	97
昭和産	112
東洋醸	90
合同酒	150
三楽	130
大阪糖	160
三井物	160
第一物	149
白木屋	274
高島屋	101
大丸	303
日活	70
松竹	208
東宝	1325
大映	169
王子紙	231
十条紙	277
本州紙	94
三菱紙	86
北越紙	63
日セメ	154
磐城セ	262
小野田	90
富士写	145
小西六	105
横浜ゴ	150
旭硝子	166
三井不	770
三井倉	83
渋沢倉	80
東洋埠	200

ないがい川柳

吉田機司選

美術展色盲も絵を賞めている　千葉 中林鶯司
司会者に礼儀正しくからかわれ　北 松本いはを
ノイローゼなどは知らない焼鳥屋　千代田 南渡波
『高給三万』春を売るとは書いてない　葛飾 福田こうじ
女秘書妻に仕立てて寝台車　中野 高野芸太郎
恐妻家夢に茶碗がとんで来る　市川 気珍坊
お見舞に来て病人の菓子を食い　文京 木村いつ秋

投句歓迎 用紙ハガキ（五句以内）住所氏名明記。締切随意。入賞句に賞金呈。本社編集局川柳係あて。

内外抄

オネスト・ジョンは日本防衛のほかは使わぬと米軍。だが、誘い水にならはせぬかが心配。

◇

米が太平洋で水爆実験か。ソ連にポンポンやられては日本の反対なんか考えちゃいられぬとね。

◇

アルジェリア問題の棚上げでフランス国連に帰る。大の虫を生かすため小の虫を殺す類い。

◇

『日本は韓国を占領する下心だ』と李大統領の演説。この日本恐怖症、どうやら不治らしい。

◇

南極探検の隊長に永田東大教授がきまる。新時代の英雄たらんとする永田隊長に祝福あれ。

青春無宿 (200)

大林清
下高原健二 画

焔（六）

橋を渡った左側には大料亭の高い塀が並び、右側は堀をへだてて駐留軍の病院だった。

料亭街を出入する高級車は、大部分が表の大通りを利用するため、裏側のこの道はいつもひっそりと暗い。タクシーさえめったには通らなかった。

次郎と光代はどっちからともなく寄り添うようにして、橋を渡りきったが、その時、東劇前の河岸を走って来た人影がすれちがった。

光代も次郎も別に気にとめなかったので、その靴音が急にやんだのを知らなかった。

『おいっ、待て！』

『邪魔する気か！』

六は右手を上着の内側へ突っ込み、半身に構えた。

『大渕は事務所にいるのか』

次郎は六など問題にしていない。大渕を捕えて放火首謀の泥を吐かせることしか考えていなかった。

『知らねえ、てめえ光代を渡さない気だな』

なおも凄む六から光代へ視線を移して、

『行きましょう』

こんな男にかかわりあっていても仕方がないという口調だった。実際に六へ背を見せてあるきだしかけたものだ。

『やいっ、逃げる気か！』

踊る相手に安価な同情
初会惚れ、あと無我夢中

おそるべき19娘心のひとすじ

ニュース ストーリー

【写真は某ホールのマンボ大会】

[illegible]

ちは大阪で暮したことなど、男は言葉巧みに彼女に語った。

◇『貴女は両親が揃ってて羨しい。子供として両親と早く死別することほど不幸はない』会話中に小山がいった言葉が歌子の頭から抜けきらず『気の毒な方』という

同情の念が歌子の心に強く刻まれた。失職して両親のない二十一才の青年がダンスホールで連日マンボを踊っているほど生活が豊かでないことぐらい少し考えたら歌子にもわかったであろうが、すでに小山に夢中になりはじめていた時だけに、彼女は小山に同情するだけで批判することが出来なかった。幾度か会って踊るうちに二人の仲は急速に深まり歌子は小山にすべてを捧げた。歌子はもう小山と離れることの出来ないところまで来ていた。

に見捨てられるのがこわさに、勤め先の商品を横領、同棲、盗みがばれて捕まると刑事をだまして交番から逃走、高飛びしていた十九才のおそるべき少女が二十一日朝横浜市で逮捕された。師走ま近かの凍てつくような留置場で、悪夢からさめた少女は今更の如く後悔の涙をしぼっている。人が可哀そうです。××を手こずらせている物語である。

尋ね来た恋のライバル
商品盗んで彼氏に貢ぐ

◇夏も終ろうとしていたある日曜日のこと、歌子の家へ『小山の妹』という十七、八才の少女が訪ねてきた。その女性は小山との関係をいろいろと聞いて帰ったが、歌子にはその女が小山の恋人であることがはっきりと判った。『小山に恋人がいる。私は捨てられるかもしれない』そう考えた歌子は小山の関心を買うことに手段を選ばなかった。小山と一緒にホテルへ行くだけでは心細く、失職して生活に困っているという小山に生活費を送るようになった。歌子は小山を知るまでは月給六千円のうち半分は必ず母に渡すという孝行娘だったが、金を小山に渡すようになってからはそれも不可能で、金に困った歌子は遂に去る九月十九日夕方勤め先の北村装飾品店の商品、パール・ネックレス、金指輪、イヤリングなど十数点約十万円相当を盗み出し、その足で保土ケ谷のある質屋へ行った。

◇『身分証明書をおもちですか』質屋では歌子の持ってきた品物が高級品でしかも小娘のくせに品物を沢山もっているのに不審を抱きこうたずねた。その時歌子はフト考えた『自分の身分証明書を見せるとあとが危い』――突さに口に出たのは『今日は持ってませんが別に急ぐわけではありませんから、じゃ明日また』彼女はつとめて平静に嘘がばれないよう心掛けながらふるえる手で一度出した品物をハンドバッグにしまいこんだ。入質するのに身分を証明する米穀通帳や身分証明書が必要なことを彼女は知らなかったのである。

◇その夜歌子は自宅で富士見学園時代の学友栞女の身分証明書を見つけた。『しめた』歌子の心の中で悪魔がささやいた。翌日この身分証明書で何一つ疑われることなく盗品を質入れすることに成功した。『五万円位でいかがでしょう』質屋の番頭はこの上客にていねいに頭を下げて千円札五十枚を歌子に渡した。金を手にした歌子はまるで別人のようになっていた。その足ですぐに東京行電車に乗った。ハンドバッグの中には五万円がうなっている。『この金を小山に渡せばきっと小山は喜んでくれるだろう』小山に捨てられることをおそれている歌子は小山に取り入ることだけしか考えていなかった。

◇だが小山は歌子が期待していたほど喜んでくれなかった。『お金が少なかったからだ』それが男の

紅灯美人百景 ⑧
赤坂――富士村 市丸

東京で一番情趣のある景色は、と問われれば私は躊躇なく桜咲く頃の弁慶橋と答える。

その弁慶橋も欄干の落ちたままの、無残な姿のままなげ出されていたが、二年ばかり前にすっかり修理されて、また以前のような擬宝珠をつけた欄干を、青くよどんだ濠に映して赤坂見附の景はととのった。

戦前と違うのは、清水谷公園の上に天を摩すような、テレビ塔が二基競い立って見えることと、山王さまの森が低くなって、自動車販売会社がガラス張りの店を連ねたことである。山王さまは徳川時代から

〽山王のお猿さんは赤いおべべが大お好き…

と唄に唄われて親しまれ、その祭礼は神田明神とともに、江戸を代表した二大大祭として今日なお盛大に行われている。

この山王の森一つが、永田町という日本一の政治街と、赤坂花街とをへだてているだけなので、赤坂はつまり国会の裏座敷だといわれているのである。

いわゆるそうしたお偉方のお客すじが多いためか、この土地は全体に気位いが一寸お高い感がある。それだけにまた、上品で美しいひとも多い。

市丸さんといっても、流行歌の市丸姐さんのような年増さんではない。"富士村"の娘分でぐんと若くって、発剌とした、二分ばかり不足だが八頭身で、輝くばかりの美貌、お座敷へ現われると、ぱっと薄紅の牡丹が開いたように四辺が明るくなる。

川村女学院の出身で、詩が大好きで自分でも作るという。"作品を見せて下さい"といったら『何かに出されたらはずかしいからいや』とどうしても見せてくれない。

麗わしの詩人の作を、読者にご紹介出来なかったのは残念である。そこで私の句で我慢していただこう。

秋灯まぶしき妓の眼　スケッチす

えと文　神保朋世

交番から脱走、高飛び
あくまで男をかばう

◇こうして歌子は商品を約三十一万三千円相当も盗み出し金にかえてしまった。しかし歌子の手もとには一円も残らなかった。彼女はその金に生命をかけて愛人小山に貢ぎつづけ、小山もなくなると歌子をつれて豪華なホテルに泊り、豪遊した。その間も歌子の盗みと質入れが続いたが、しかも歌子は度々なので、保土ケ谷署で捜査したところ、浅間町某質店の陳列棚にとわかり、しかも歌子は家を出て小山と同棲して一か月以上も自宅へ帰っていないという状態で、親も世間体をはばかりなり行きにまかせていた。

◇保土ケ谷署では早速逮捕状をとり歌子の行方を捜査中、去る九月日同署刑事が野毛山付近の写真屋に入ったところを発見、近くの野毛交番に連行して調べ中、歌子は『ご不浄へ行かせて下さい』と便所へ入ったまま逃走、その後小山と大阪方面へ逃走しっていたが、……刑事は歌子の両親を大阪駅に急行させ、歌子が荷物をとりに来たところをそのまま横浜へ連れもどしたが、冒険を敢ておかしな

女を操る手とも知らず、愚かな歌子はそう思った。店の品物さえ上手に持出せば入質の方は大丈夫である。彼女は同僚の隙を見ては少しずつ持帰り入質しては金に替えた。ところが意外、彼女は同じ店の同僚女店員が自分と同じように装飾品を盗み出す現場を見てしまった。『あなただって持出していたでしょう、お互いに黙っていればいいのよ』同僚はそういった。よく注意してみるとまだ他にも商品を盗み出す同僚がいた。『みんなやっているのだから』そう思うと歌子の気持は急に楽になった。と同時に持出す量もぐんと増した。店は大きいし少々持出しても品物の数で犯行がバレることはなかった。

から男の膝下に身体を投げ出していた歌子は、男への愛情から黙秘権をつかい、男の居場所もいわず、共犯関係もないといい張っている。

◇彼女は質屋から押収された指輪、ネックレスの一部を前にしながら『私は愚かな女です。小山に女があることを知っていて競争したのです。でも相手の女を押しのけて自分だけが小山のものになろうなどとは考えていなかった。ただ自分が捨てられた場合に落ちて行く先があまりにもはっきりしていたので、理性を失い盲目的に彼を追い回しただけです』といっているが、男にだまされたとは決していわず、あくまで小山をかばいつづけている。

店から持出して入質したものの一部

家庭も商店もアマすぎる!

横浜市警長谷川少年課長にこの事件を聞いてみると『この事件ぐらい戦後派的性格が出ているものはなく、馴れ染めがダンスホールで男がマンボ青年、少女は同情という感情的な少女趣味でくっついているうちに体をゆるし、その後は無我夢中。少女の親は放任主義で外泊しても別に注意もせず、勤め先の店は店で商品をごまかされても一向に気付かず、こんなにどこからどこまで馬鹿でかたまった事件はない。質屋が協力しなかったらどんなことになっていたか考えても慄然とする。しかも店の他の女も同じように盗み出しているというからこの店もよほどいかれている』とまゆをよせていた。

モダン県人記
無娼地の群馬県

明治二十二年十一月二十七日、群馬県前橋市の青年達は、興奮して前夜に市内の愛宕座で行われた島田三郎氏の廃娼演説会の盛況を語り合っていた。明治十年、ジュネーヴで十五ヵ国の代表者が集り公娼絶滅を決議したので、早くも埼玉、和歌山両県では公娼を廃止した。

群馬県では青年の純潔を保つための民意として、県会がこれを決議して公娼廃止が決定し、その期日が明治二十一年六月と定められたが、業者の反対運動で無期限に延期されてしまった。

それで上毛青年連合会が県会を動かすために改進党の島田氏を迎えて気勢をあげたのだが、その後の明治二十四年九月に、明治二十六年十二月限り県内の貸座敷と娼妓を廃止すると決定し実行された。

白根県令が廃娼を断行した埼玉県では、後の府県制の改革で、熊谷県が合併され、本庄、深谷の遊廓が県内に入り、無娼県でなくなった。和歌山県も明治三十八年、女郎屋知事といわれた伯爵清棲家教の時代に置娼案が通過して、新宮町等に遊廓ができ、群馬県だけが唯一の無公娼県として残ったのだった。(鮭)

恋流世界譚
……(フランス)……

『○月○日彼と熱いべーぜ。瞬間、私の心臓は止ってしまった。気がつくと彼は別の女の人を抱いていた。薄情者! だが彼は微笑んだきり燃えてくれなかった、この空しいところ。思い詰めた私の念が火と燃えたのに、何故彼はああも冷めたいのであろうか。勿論彼は素晴しい人気のある映画俳優、私はまだ小さな高校生。彼は相手にしないではあろうが、せめて心をこめたくちづけだけはうけてくれるのに――ああ燃えろよ彼の唇よ、心よ。(B)』『○月○日彼が私の方に歩いてくる。そして腕を伸ばして私を抱こうとした

思わずくやし涙でその場を飛出してしまった。(C)』高校二年の娘の日記を見てお母さんはびっくりしてしまった。まさか自分の娘がこんなに堕落していようとは思わなかったので、必死になって恋人であろうBやCを探しましたが、やがて真相がわかって安心しました。つまりBとはブロマイド、Cとはシネマだったので――

あすの運勢

[illegible]

1枚あればお2人で一切無料
1500名様をご招待
国体アベック旅行 愛読者サービス 箱根一泊旅・抽選券 内外タイムス社
【送り先】中央区銀座3の5 内外タイムス社(特別旅行係)と朱書、開封郵送の事(1人何枚でも可)月3回抽選、旅行日の10日前に当選者氏名発表

東海毒婦伝
青とかげ (141)
野沢 純
士端一美 画

街道往来(三)

『へい――あっしは何も、怪しい者なんかじゃァござんせん』
『怪しくなけりゃァ、なおさらだ吟味に恐れることはねえ筈だろう』
『旦那あッしは……』
『うるせえ! いうことがあったら番所でいいな。歌だといやア縛曳(しょっぴ)くばかりだ!』
腰の十手に手が伸びた。
と見た瞬間、かいくぐって脱兎の如く、草地を蹴って逃げ出した与次郎だ。
『くそ!』
いよいよもって怪しい奴――と岡っ引は睨んだ。
逃げるあとから、すぐ追った。
丸木橋を一足とび。田圃の畦を斜めに走った。

逃げながらも、与次郎のあたまに、チラと稲妻のように閃めいたのは、箱根峠の庚申堂。殺しの一と場を覗いた時のことだ。
死体のムシロをめくって見て、殺されているのが、つい昨日まで一緒にいた相棒の、しぐれの半次――と知れて、
『あっ!』
と思わず声をあげて、関所役人から、
『ゆかりの者か?』
と咎められ、かぶりを振って、へどもどと、慌ててそらせて、いち早くその場を去った――
あの時以来、心の隅のどこかに巣くっていた、油断のならない虫の一つに出逢った気持であったのだ。最前、
『そこで何をしている!』
と、だしぬけに、見咎められた時も、とっさに、
(いけねえ!)
まずい――と思った。
賭場の帰りに、永代橋のまんなかで、火方盗賊改めの役人から、呼びとめられた時のザワリ! に忽ち結びついた。
――与次郎は夢中で逃げた。

街道筋はあぶない――と見てとって、わざと脇の野道へそれた。
途中出逢った百姓が、クワをかついで、
(あれま何ずら?)
と、おったまげたように振り返った。それ程早い足どりである。
イタチのように逃げのびる。岡っ引の方が遙かにおくれた。逃げ足は、たちまち向うの藪かげに消える。
『くそ、いめえましい!』と取り逃がしたか』
途中でとうとうあきらめたか、足をゆるめて舌打ちまじりに、そう口走ったのは、夜前お幾の茶屋の雨戸を叩いた岡っ引、大場の長八である。
『おっそろしい足(そく)の早え野郎もあったもんだ』
『旦那――今のは何ですえ?』
立ち止ったまま、クワをかついで訊きかける百姓姿へ、
『何でもねえ!』
不気嫌そうにいいすてて、その足で行った茶屋だ。踵(きびす)を返したお幾の茶屋だ。
『のどが渇いた。水をくんねえ』
柄杓(ひしゃく)でガブガブ飲んでおいて、
『野郎、とんだ骨折り損をさせやァがった!』
『旦那――さっきのあれは、一体何でござんすえ?』
待ちかねて訊くお幾に向って、
『殺しの片割れと俺は睨んだ。三島へ来たのは解っちゃァいたが、川のあたりをうろうろしていたのは、テッキリ落した匕首を、捜しにもどったに違えねえ。せっかく見張っていた奴を、惜しいところでとり逃がしたぜ』
聞いてひそかに、ほっと息つくお幾のところ――まことは奥で聞いている、おりうの方が、へたへたと崩れるばかり、安堵の念にほっとしていた。

LP盤盗まれたが…
高円寺『かぶーす』

先頃、各新聞紙上に『LP盤九十枚紛失云々』と報道されたが、普通の喫茶店では相当の打撃であるが、行ってみてオドロイた。過少に食い止めたことよりも次から次と出る本場の最新盤がことごとく購入されているのも音楽喫茶の先駆を築いたこの店の努力がジャズ愛好家の間で絶大な好評と信頼を受けている。トランペッター福原氏をはじめミュジシャンの面々がよくみえるのもうなずける事実である。

店の名は『かぶーす』。といえば多言は要しないが、先ず最高度の大型電蓄から流れ出るユニークな音質、ダイナミックな迫力は正にジャズ喫茶の異彩といっても過言でない。なお、モダンジャズをはじめLP・EP盤を優に五百枚も容しているのは当代随一であろう。コーヒー党でも充分楽しめる店として絶対推奨出来る。十数人いるウェイトレスも夫々エキゾチックな容姿をして仲々のサービス振りである。

場所は高円寺北口庚申通りを左へ少し入ったところである。

ランデブーコースの終点
彼と彼女のバー・三鳩

銀座から新橋へ、それがランデブーのコースなら、さしずめスナックバー『三鳩』はその終点だ。

場所は新橋地下鉄銀座口前の通称プラ小路の角から二軒目。紳士淑女は『サンキュー』と呼んで親しんでいる。元アクセサリーの店だけあって、店内のふん囲気はスッキリとして上品。秋冷の宵、一夜を彼と彼女が心を暖め合うにうってつけのバーだか…

この店の名物は何といっても水爆的安値サービスのニューカクテル『オネスト・ジョン』だ。その風流譚などにそくそくと秋の夜長を語り合えばよい。

朝はサンドウイッチに飲み物つきで百円という手軽でうまい朝食を提供する。ラジオ、レコード、テレビも完備しているから、昼間なら珈琲一杯で憩うことも出来よう。安くてうまくて気分のいい店『三鳩』は彼女と彼の憩いの巣である。

舶来居酒屋だからスコッチを始め一流酒がズラリと並ぶスタンドは立派だが、トリス40円、ハイボール50円とえらく安い。スコッチにしても銀座の半値一〇〇円で飲ませてくれる。恐らく採算を無視した値段なんだろう。みていると飛ぶように売れている。ダイスで一夜を愉しんで、バーテンの処法は秘密だが、これを明確に当てたら無料にするとこの道十年のベテランバーテンはいっている。一つ、ズバリとやって、彼女の点数を上げてはいかが?

"恋はひといろ 恋の写しはさまざま"
新宿・バー『ギャバン』

『男性には夫々自分の理想があるけど女性にはただ夢があるだけよ』だから恋を夢見る程恋するものだという。

新宿東口前二幸脇の食堂横丁にあるバー『ギャバン』でのことだ。『ビール一本でも真剣な恋が出来ることよ』親しみのもてるギャバン娘の心意気は嬉しいものだ。

『でも私なら素晴しい音楽で雰囲気に浸り乍らダンスするのが一番素的な恋だと思うわ』

安い料金で北欧的な雰囲気の中で美人と踊るのは、エキゾチックな感じが出るものだ。

なお、クリスマスのチケットを予約中である。

東京一愉しい踊れる喫茶店
銀座二・シェーク

踊れるサービス喫茶というのは珍らしい。大がいの店はAでもRでも踊れないのだ。

そこへゆくと銀座二丁目の東三目通り。銀座館の二階『シェーク』は圧巻だ。珈琲一杯で踊れるし、パートナーには美しいシェーク娘が待っている。音楽はチャ・チャ・チャやジャズを主体にダンス曲なら何でもあるし、最近ニューフェイスが多勢入った。珈琲一〇〇円、ビール二〇〇円で別に指名料などとられず気に入った娘と踊れるこのシステムは東京唯一のものといっていいだろう。

うまいカクテル ニッカバー・地球

90円のもっとも生きる方法
横浜『白馬車』

立派な託児所もできた

枝葉をのばした"母の会ニュース"

助け合う働く母

『産休』もとれぬ冷たい現実との闘い

職場単位でふえる会員

『夫婦で働きに出ている留守に火事で焼け出され、ご近所の方々の手で赤んぼだけは助かりました。その子ももう七ヵ月になりうば車を求めています。どなたかあいているのはないでしょうか？借りても、譲っていただいてもよいのですが……』こんな訴えが、働く母の会ニュースに出はじめたのはこの春だった。岩波書店、東大、科研、日銀、農林省など職場に働く母たちが同じ悩みに手をとりあって進もうとこの会が生れてから一年目のいまでは北は北海道から南は九州まで全国各地の仲間が参加、三百人を越える集まりとなって働く母たちに励ましのよりどころとなっている。

共かせぎまではどうにかやってゆけるが、こどもが生れたら働けない。労働基準法で決っている産前産後六週間ずつの休暇も職場ではなかなかとりにくいなど働く母たちの悩みは深い。とにかくみんな寄り集って力を合せようと岩波書店の小林静江さん(32)熊谷光子さん(30)らが中心になって会が生れたのは昨年十二月の初めだった。七十人ほどの婦人のうち四割は結婚していたが、だれも子どもを生むのを恐れて悩んでいた中で、小林さんが働く母ナンバーワンになる決意をし、仲間に励まされながらついに実現したのがきっかけだったという。

東京都千代田区神田一ツ橋二の三岩波書店労組婦人部に連絡所をおき、東大、農林省、科学研究所、文部、大蔵、厚生各省、第一生命、日銀など都内の各職場にひろがった。一ヵ月おきに総会を開いたり、会のニュースを出したり、母子保健懇話会の友枝宗枝、愛育研究所の平井信義氏らも進んで顧問を引受けてくれた。

この六月から中央線グループではついに中野の高橋恭子さんの宅を開放して大和町託児所もできた。一年たったいまでは東京周辺から北海道、九州までも参加者がひろがり三百人を越えた。結婚後三、四年目の二十六、七才の人が一番多いが、なかには『育児のお手伝いがしたい』『何か縫いもののお手伝いにでも使って下さい』と申出る五十、六十の年配者などもずいぶんあるという。総会のたびごとにいろんな問題が出された。十月末開かれた『産休について』の集りでは各職場の会員から産休のとれない実態が明らかにされた。

大蔵省には約四百人の女性職員がいるが、このほど世論調査で『結婚後に子どもが生れても勤めたい』という人が六五％もいるのに結婚後六年たってもまだ子どもを生めないというミセスなどが圧倒的に多いことがわかった。その結果、働く母の会の会員たちが中心になって"ミセスの会"も生れた。農林省の改良局にも同じ会が生れた。国立公衆衛生院では八十人のうち既婚者が二十五人、そのうち産前産後の休暇をとっているのはたった一人。住友石炭では既婚女性が首切り優先となり、七十人の女性中だれ一人産休をとっていないこともわかった。日本銀行には百名近い既婚者がいるが産休をとる人は昇給を止められたり、授乳時間や場所がないことなども訴えられた。

機関紙"働く母の会ニュース"も四月からガリ版刷りで出されたがいまはすっかり会員相互の"助け合い通信"になってしまった。『子どもを預ります。当方寡婦』『保育所に使って下さい。八畳一室を開放します』『ときどき手伝っていただける方を求めます』……といった形。また都立大の一会員からは"くりまわし"という妊婦服、ベッド、イス、おもちゃ、うば車などを順ぐりに回して便利にやっている報告もあるなど会員間に大歓迎、近く出すニュースも千部にして地方組織も作りたいと小林さんたちは張切っている。

土地などで三百万円

サギ男御用　日大外科部長も被害

高井戸署では二十五日夜杉並区永福町二九土建業松浦組社長松浦元博(42)を詐欺、私文書偽造行使の疑いで逮捕した。調べでは松浦は会社が営業不振に陥ったところから、昨年春ごろ近くの同区大宮町一五六二農業高橋平太郎さん(69)が土地を売りに出しているのに目をつけ、中学時代の友人日大医学部付属病院外科部長今尾文二医博(42)=中野区住吉町二六=が住宅金融公庫で家を建てるために土地を探している話に、高橋さん所有の宅地百十七坪の売買契約書を偽造『八十四万円で契約、四十万円の内金を入れたから』と今尾博士に持ちかけ昨年四月ごろ同氏から現金二十五万円をだまし取ったほか、さる八月ごろには港区芝新橋一の五土建業新扶桑建設会社=代表者金沢勝広氏(38)=から『銀行に紹介する』と三十万円の約束手形を騙し取るなど、自供しただけでも数件約三百万円の詐欺を働いていた疑い。

小豆など八百万円

乾物屋荒しの三人組

愛宕署では二十六日朝までに住所不定無職前科一犯中野行夫(37)を窃盗で、中央区湊町三の二乾物商神田春治(52)大田区大森四の一三五中山誠作(38)を故買の疑いでそれぞれ検挙した。調べでは、中野はさる二月ごろから都内の乾物商を荒していたもので、四月十五日午後四時ごろ中央区越前堀二の三乾物商小川正宏さん(35)方で運送店から荷が着いて混雑している隙に小豆二十四貫入二袋（一万五千円相当）を盗んだほか、同様手口で小豆、砂糖など二十四件八百万円の盗みを働き、神田や中山に市価の二、三割引きで売っていた。

捕えて見れば玩具の拳銃

超心臓の銀行ギャング

【大阪発】二十六日午後零時十分ごろ大阪市西区立売堀電停前の富士銀行立売堀支店（支店長藤井勝美氏）の南側通用門から一人の男が侵入、土曜日で正午に閉店して事務整理中の貸付係員にピストル様のものをつきつけ『金を出せ』とおどしたが、行員の一人がコールサインで大阪府警に急報、気がついた賊はあわてて逃げ出した。この騒ぎで隣りの自転車商藤田貞雄さん(42)が表に飛出し、逃げようとする賊に組つき、同行員と協力して格闘の末逮捕署につき出した。同署で調べたところ賊の持っるピストルはオモチャとわかり、犯人は名古屋市中区泉町四の二無職高田治(34)で犯行動機他取調べ中。

若夫婦宅に強盗

二十六日午前一時半ごろ荒川区尾久九の三二四四会社員松田博(32)方にカーキ色の上衣を着た貝風の男が押入り、就寝中の松田さんと妻の文子さん(24)の頭をカンで殴りつけたが、松田さんが騒いだため賊は何も盗らず逃走したと尾久署に届出た。

電報の遅配続出

公労協闘争第一波終る

年末手当闘争中の公労協の第一波実力行使第三日は、二十五日闘争を終ったアルコール専売を除く八組合によって二十六日も続けられた。全逓は全国一万二千の郵便局が引続き二割休暇を続行した。同本部の調べでは郵便物が全国で平均一日、北海道、九州地区では一日半の遅れがでており、すでに百万通の郵便物が滞留しているという。

全電通も二割休暇を実施、このため電報が二時間から三時間にわたっておくれている。当局は休暇をとった全員の賃金カットを決定、組合ではこのため三日間で約六万名の賃金が切り捨てられるほか、すでに二回にわたり当局から出勤命令が出されているので本部、支部を通じてかなりの整理者が出るものと覚悟している。

また国鉄は全国二十七地本ごとに一、二ヵ所の操車場、駅などで違法闘争を行い、正午全国一斉に職場大会を開き実力行使を終る。二十六日で公労協の第一波実力行使は終了、十二月一日から三日間第二波実力行使が予定されている。

ヴェトナムから宿願の帰国

元日本兵の水江さん　現地人妻子と共に

【横浜発】フランス郵船東洋定期客船ラオス号(一三、二一二総トン)は二十六日朝八時マルセーユから印度洋経由、横浜に入港した。同船ではヴェトナムの元日本兵水江源治さん(35)=福井県遠敷郡上中町市場一一の六=が十三年ぶりに現地人の妻子を連れて引揚げてきた。水江さんは元小学校教員でさる昭和十七年華中に渡り二十年三月華南からヴェトナムに入った。中部ヴェトナムのウインにいたとき終戦になり、部隊はサイゴンに集結することになっていたが『山の中で時機を待とう』と仲間五、六人と一緒に部隊を離れた。その後河静（ハーティン）省の手緑（カンロック）という部落に行き省政府から補助をうけて生活していたが、二十三年六月現地人の阮氏娥（グェン・テー・ガ）さん(34)と結婚、その後女児阮氏郷ちゃん(5)が生れた。

二十四年ごろホー・チミン系の火薬工場に『新越南人』と呼ばれて勤めたが、日本人は省政府公安局から絶えずにらまれているので今年四月米軍の援助でサイゴンに脱出したりして帰国したもの。

故郷には母つねさん(55)が待っているが、水江さんの通訳で阮氏娥さんは『夫の母を自分の生みの親と思って、これから暮していきたい』と語っていた。

現地妻を連れて帰国した水江さん

魅力はこれだ！　高島象山師にきく

⑥ 新橋　染福姐さん

『なんていうお姐さんだい…』『染福といってまり千代姐さんについで新橋東おどりの人気を背負ってるんです…』『ほーほー』そういって先生ってもこんなお爺ちゃんになったようにこんなお爺ちゃんにな…美しい姐さんをみると……

旭日昇天の相

たゞし、男はあまりかえぬこと

真にうっとり見惚れる。『あまり感心して見てないで易の方はどうなんですか…』『本職かね、どうも人間死ぬまで色気はぬけぬとみえて、わしやっぱりネ…』なんだか涎の垂れそうなものの、いい方―

『"染福"という名はいいなあ芸妓さんにはもってこいの名だ』

よ……平素口が重くお座敷などに出ても余りしゃべらないが気性は明るく、ゆったりしていて情がある』『踊りは天下一品かも知れんよいとこちらがアテられ気味。先生のベタ惚れ的ご鑑定にはちょっと…』

オンナで片付けてしまう』『男を手玉にとることは出来ない。いうなれば花街にありながら心は主婦型てなもんじゃろう…』（恐れ入ったお言葉）『運勢は今年の夏、ダンナか芸か知らないが不平不満があった。それもいまでは薄らいでこの秋から来年にかけ旭光昇る如しだ。一口と目、かん骨が張っているのは意思と情に強い証拠、最後に注意しておくが余り転々と男性をかえないこと、うっかりとかえればいん乱の相ありじゃ…』

が三味の方はどうかな。この顔からみると余り得意でもなさそうだよ。ともかくこの女性…』（先生の口から女性といったのはこれが初めて、大抵はこの最後に先生ピリリとしめて口を結んだ。

牝馬特別でフィナーレ

【東京七日目】最終日のあすをかざる呼びものはビッグレース三鞍だが第十の東京牝馬特別は府中情別のフィナーレともいえそうだ。

△サラ三才特別（第七―千二百米）キタノオー、ケンセイの両馬による争い。ケンセイの二十四日の攻馬は、多少重気味にも見受けられたのでキタノオー優勢の見解も立つが、右の一と追いによっての良化も予想され、直線の良いここでは、結局末脚のよさがモノをいうのでないか。しかしもし穴が……この斤量をよく克服できるかどうか。特ハンでは同馬にわずかに敗れているが、増量比では60キロのゲーリーの方が有利。四日目マサハタに二着した成績からはブレツシングも問題の一頭だし、距離的にトウセイ、カツタローにも軽視できないものがある。殊にカツタローのできのよいのは注目される。ゲーリー、サスケハナ、トウセイの順、穴ブレツシング。

△一般レース予想　❶ヒハヤ、ギンポウ、ダイオーの順、穴トキワオー、❷オーエスピー、ヒスイ、チサトの順、穴ワコウ、❸ハツリユウ、ミスチカコの順❹カネエイカン、クリチカラ、ハツワカの順、穴オーセイ❻ギンカゼ、シズカ、ツキノヒメの順、穴ナスノツ……

△ホープ賞（三日目）オーシヨウ、アオヤギ、セイザン、ダイヨンホウシユウ。

△アラブ障害（四日目）タチバナ、タカナス、テンニシヤ、カネマサ。

△金の鞍（四日目）アサクニ、ブゼントシユキ、ミスアサヒロ、モリマツ。

△金の星（五日目）グレートリバー、ラツキーオー、テンポー、カブトモ。（松本）

梯子車など14台が出動

きょうから火災予防週間　東京駅前で消防演習

きょうから火災予防週間――東京消防庁では火の用心運動のトップとして二十六日午前十一時から東京駅前大丸デパート南側広場で消防演習を行った。この日出動したのは消防庁ご自慢の梯子車、水槽車、高圧車、救急車など十四台。苦しい予算の中から買い求めた一万五千円也の古ダットサンに火をつけて消火したり、八階にまでのびるハシゴ車で救い出したり、など多彩な消火演習を一時間にわたり展開、見物人も黒山の盛況だった。【写真は消防演習】

他殺か老人変死

二十五日夜十時二十分ごろ荒川区尾久町五の一一〇七無職渡辺誠司さん(59)が自宅四畳半間のフトンの中で死んでいるのを勤めから帰った長女光さん(31)が発見、尾久署に届出た。同署の調べでは外傷はなく検視した医師は病死と断定したが、渡辺さんの目にウッ血点がある上、現金三、四千円と背広上下、靴各一点がなくなっているなど不審の点が多いので他殺の疑いもあるとみて二十六日警視庁に協力を求めて捜査を開始した。同家は誠司さん、光さんのほか次男鼎明君(18)の三人暮しだが、事件発生と同時に鼎明君が姿を消しているので、関係があるのではないかとみて行方をさがしている。

狐とののしられ女学生自殺

二十六日朝五時十五分ごろ港区芝田村町五の二〇材木商柾木宇太郎さん次女喜代子さん(18)=赤坂高校三年=は自宅八畳間でアドルム自殺した。友人から『不美人だ』『キツネ』と呼ばれたのを悲観したもの。

ふし穴

沖縄の玉騒動…？

◇連発禁止のあおりをくって不振だったパチンコは、このところめざましい景気挽回ぶりをみせているが、沖縄でもいま連発問題でもめている。『連発パチンコは犯罪の温床だ』とみるのは沖縄の場合もまったく同じで、全島署長会議で連発禁止を決議、来年一月から禁止することになった。ところが、驚いたことには、業者が必死の陳情攻勢を展開するや、立法院（議会）はたちまち軟化して本会議の結果十ヵ月の延期を認めてしまった。なにしろ沖縄というところは戦前から"県会は辻（遊廓）で開いた"といわれるだけあって、この連発か単発かの玉騒動に、ほんものの"上玉"をあてがわれた汚職のにおいがすると島民の間でもっぱらの噂さ。

◇一晩、一金三千五百円ナリの相場を堅持して"一流品"を集めて客種のよいのを誇っていた新宿二丁目のAが、近く同業者に先立って経営方針を大変更するという。これほど目新しい方法ではなく、例の"芸妓部屋貸します"のシステムである。いままでは、赤線地域は営業の看板がカフェーで、そこに飲みにきた客が女給と自由恋愛の結果…というのが表向きだったが、業者が代金の徴集をしていたところから、何かというと職安法違反、勅令九号違反でいためつけられる。それよりいっそ女給に部屋貸しして一日千円ぐらいをとりたてる、それの方が安全だというわけ。だが、商売仇にいわせると、世はあげてサービス時代だが、高料金をとるのが看板の店ではいまさら下手に料金の値下げをしては客に足元をみられる。そこで女給の自由营業とすれば、金ほしさの女給がダンピングもできるわけで収入は増大する一方だとあるから、紅灯緑酒のチマタは何が真相だかサッパリわからない。（赤）

独眼灯

○…八百万円ここ掘れワンワンで刑事、地元消防団に畑を何反歩も掘りかえさせている一千万円持逃げ犯人埼玉銀行大宮支店出納主任鈴木善清(25)は今二十六日で拘留期間がおすもうさんではないが時間一パイ。

○…『どうだね、残りの八百万円について本当のことを自供し給え。それではいよ……』

あすのスポーツ　▽野球　日本産業別（十一時半　後楽園）▽庭球　朝日招待大会（十時パレス）▽サッカー　関東大学一部リーグ戦（十時半　神宮）▽柔道早慶対抗戦（二時　講道館）▽馬術　東都大学リーグ（零時半　馬事公苑）▽競馬　東京、船橋

続 情炎の千代田城 (311)

岩崎栄　寺本忠雄画

天城の雲（四）

『早く身じたくしなきゃ、もうこんなところに一ときもぐずぐずしちゃいられませんよ』

お静の報告を聞きながら、男三人、臥床の上で、すっかり足ごしらえまでしてしまった。

『この宿にゃ、わるいけど、一両も置いとくか』

八百定が紙にひねって、たたみ上げた夜具の上にのせる。

魚半が雨戸を開ける。庭木戸からみんな脱け出すと、そこにじょんぼり立っているお市に案内させて山みちへわけ入った。

『ねえ、お市ちゃん。おまえさんのあの、猫越とかの家はどうなってるの、いまは』

お静が歩きながら訊く。

『掘立小屋みてえなもんだが、山の谷で空家になっとるだんべよ。誰ァれもあんな山奥の一軒家にゃ住まねえだから』

お静はうなずくと、八百定に、

『ねえ、おじさん！　この娘にひとまず、そこへつれてって貰うん

『さて、先ず腹ペコだが……』

竹の根駄に腐れたような古席が敷いてある。八百定はあたりを見回し、

『おっそろしく何もねえ家だぜ』

久しく人っ気の絶えた家だ。冷くなっている炉の灰を掻きほぐして、お市がソダ火を燃した。

『茶もーねえだろうな』

『へえ、なんにも……お湯でも沸すだか』

お市は自在鍵の煤まみれの鍋をはずし、谷川から水を汲み込んで来て、

『あの、わし、ちょっくら芋掘ってくるだで、この湯が沸くまでにな』

『なに、芋があるのか』

『この上の洞穴に、兄さが困っておいたじねんじょがある筈だから』

『そいつあ、てえしたことだ』

千代太郎が、

『おいらも行ってみようっと』

ついて出た。江戸育ちに、こうした仙境の山気は、血が洗われるばかりにすがすがしい。

大きな岩に、松だか杉だかの丸太ん棒がもたせかけてあって、その奥が暗い穴になっていた。這い込んで行ったお市が、腕ぐらいな太さのじねんじょを両手に三本も摑んで来た。

『この下の沢にゃわさびが生えてるだで』

ですね、ともかく』

『うむ、それがよかんべえ』

『じゃ、わたしゃここから、あの西光寺へ行きます』

『よし』

『猫越とやらの、このお市ちゃんのうちに落ちついたら、今夜にでも、ねえ魚半おじさん』

『がってん！　その西光寺へ忍びこむ。だが、大きな寺かい』

『そう、大きいけど、裏の方のね、竹藪のところの離れみたいな部屋にいますから』

『わかった』

『じゃ、お市ちゃん、頼みますよ。もうあんた心配することァいらないのよ。いずれは、このおじさんたちが、いつまでもめんどう見てくれますからね』

お市は袂を顔に押しあてゝ頷く。

『千代ちゃん、気をつけてね』

『あゝ、姉さんも貞操をね』

『なに生意気いってる。じゃさようなら』

声をのこして、お静は森の小みちに消えて行った。

猫越川の上流、清流が岩を嚙み、雪のような泡を砕いている畔に、いかにも侘びしい一軒の一つ家が傾いていた。

すでに朝だったが、陽も射さず、里の方から、鶏の声も犬の声も聞こえて来ぬ別天地だった。

今週の顔　黒沢明

記録』が全国で封切ら[illegible]『死ぬのはかまわぬが、[illegible]のはいやだ！』ビキニ以[illegible]そろ忘れ去られようと[illegible]の言葉があらためて人々[illegible]みがえるとともに、水爆[illegible]追いつめられた一人の男[illegible]コトンまでスクリーンに[illegible]た黒沢に、あらためて[illegible]注視がよせられている。[illegible]である。『生きものの記[illegible]り当っていないようだ。[illegible]ンは錦さま、千代さまの[illegible]しの喚声をおくるためで[illegible]灰の谷間"ニッポンの現[illegible]

それはさておき、黒沢[illegible]掴めぬ男だというのが[illegible]るが、若い女優などは彼[illegible]ないのである。いや男[illegible]する。まさしく"黒沢[illegible]

まただ [illegible]

だから [illegible]

正体のつかめぬ男？
平常の物静かさと仕事のきびしさ

……ひっぱっていてくれる演出とでもいいます。つまり彼は気分をよそに散らさぬ方法となセットの雰囲気を作りあげ、人にも強要するわけだ。そこにチームワークというものが必要となる。毎年クリスマスには彼の家でささやかなパーティを開くことになっているが、黒沢一家などという俳優のグループも生れている。それ以外の人は知っていても遠慮するようにしているという。志村喬、三船敏郎、千秋実。まずこの三組の夫婦は常連になっている。その他に加東大介夫妻が加わることもあれば、上田吉二郎が飛入りすることもある。どこで出る話といえばまず、つりマージャン、将棋、そして子供の自慢話なのだそうだ。そしてたまには女の子のうわさも出るという。

そう いえば彼にはついぞ浮いたうわさもない。

こんどの『生きものの記録』では二人も三つ動物的な男を描いている。案外このへんにいるのが、彼が実現できないでいるものなレジスタンスではないのだろうか？　ともいわれればヘタな浮気はできないかや、これは冗談である。(藤)

ラジオ
峠を越した落語ブーム
ゴールデン・アワーから昼間番組へ
出演料も一万五千円割る

民放の出現で一時は日の[illegible]ームも、いまやだいぶ下[illegible]番組はゴールデン・アワ[illegible]つつある。また彼等の出[illegible]

落語ブームは二十八年七月、[illegible]が桂文楽、柳家小さん、三[illegible]

[illegible]好、三遊亭[illegible]が加わって[illegible]古今亭今輔[illegible]向の専属落[illegible]時KRのこ[illegible]KでもNHKでも『ト[illegible]亭柳橋、桂[illegible]円歌、古今[illegible]・万吉の七[illegible]が、このK[illegible]一躍落語家[illegible]、ことに専[illegible]専属並みに[illegible]した上、さ

らに専属落語家は他局に出演できないことから二ツ目、前座までが引張り凧となった。

新宿キャバレー　さくらめ★★★んと

出演料は真打がだいたい二万円、二ツ目、前座でさえも一万円は下らないのが通り相場だった。しかし専属とはいえ、一人の噺家がもつハナシのタネには限度もあり、自分の芸の粋を聞かせるにはただ一方NHKでは新作物の中から将

（木曜夜八時）KRでは専属の一人を出演させる『お好み寄席』（火曜夜七時半）NHKの『演芸独演会』（金曜夜八時）など、何れも三十分間を一人の噺家がジックリ聞かせるものが歓迎されるように変ってきており、出演料も最高一万五、六千円。二ツ目、前座は人によっては一万円をわるようになった。結局民放によって築かれた落語ブームも台風一過といったところで、専属落語家の使い方がまとまりつつあり、落語家自身演し物について研究すべき時に至ったと関係者はいっている。

のお笑いではダメだし、まして落語、漫才、物真似をかみ合わせた演芸番組は、今年の半ば頃から次第に他のバラエティに喜んだ娯楽番組に食われるようになって、現在民放ではスポンサーがゴールデン・アワーに演芸番組を出すことを嫌って昼間に移す傾向がみえてきた。従って夜聞かれる落語の番組はLFでは『志ん生を聞く』

来古典になるような傑作を出したいということで、落語研究会、NHK演芸台本研究会を月二回開きこれに落語作家として玉川一郎、長崎抜天、市川三郎らを加え地道な歩み方をしようとして注目されている。

おしゃべり帳

八百万超過ワァーイ。東京湾へ片足落ちたーい。

――都民

てんてこ舞の京都撮影所 ……(下)……
五貫目の甲冑姿
凝り屋の衣笠監督に大汗の『義仲』

大映

【京都にて与倉記者】大映、[illegible]の両撮影所は東映のすぐ近所、何れも歩いて五分ぐらいのところだ。いそがしいといっても、[illegible]とは違って両社とも主力は東[illegible]からそれほどではない。

大映は[illegible]新・平家[illegible]シリーズ[illegible]三本が入っているが、話題作は『怪盗と判官』『鍔鳴り街道』の[illegible]などをはめさせられてセットに入ると、八幡神社本殿前の陣屋の場[illegible]

写真 上 大映『義仲』をめぐる三人の[illegible]ら長谷川一[illegible]監督 下 松竹[illegible]スナップ、右[illegible]多々良純、伊[illegible]

[illegible]ろ。凝り屋の衣笠監督だけに、やれだれの首の向け方がどうの、刀のサヤがどうのとなかなかテストまでもいかない。長谷川の義仲が並いる家来たちに「むかしの人はようこんなものを着とったもんやな。小便するのも大変や。袴の前

お開いとらんしな、西洋便所ならええやろけど……」といって笑わせている。細川をつかまえて訊くと『いま着けた分だけでも少くとも五貫目はあるでしょうなあ、太刀は銀光だし。金具なんかブリキ程度ですけどね。それでも陸軍の完全軍装程度の重みを足に感じます』やっと本番になったらたった三十秒あまりで『カット』。その準備に二時間。えらいこっちゃ。

松竹
年上の恋人役？？？？
賀津雄相手に苦労する雪代敬子

松竹は『大江戸出世双六』と『元禄美少年記』の二本。福田晴一監督の『大江戸――』は太千スタジオを使い、伊藤大輔監督の『元禄――』がセットに入っていた。これまた凝り屋では人後に落ちない監督。十月十七日に入って

予定としては十二月十七日に上ることになっているが、果して二ヵ月で済むことやら。彼の名をモジって"移動大好き"という位だ。遠州浜松ロケではススキの原をこの移動でやられたために、裏方さんたち、ススキをトラックに七十杯も集めたらしい。はからずも東映の『赤穂浪士』と同じ忠臣蔵もので、錦之助の弟賀津雄が足軽の矢頭右衛門七をやるわけだが、新東宝で力作『下郎の首』を撮った彼、こんども封建時代の階級制度に取組んでいる。

賀津雄と片山明彦の佐野正平が米屋の二階で、佐竹明夫の閻十次郎から叱られるところ。凝り屋だが伊藤監督、一カット撮り終えると、俳優、裏方全部を集めて次のカットを丹念に説明してリハーサルをやる辺りはさすがに見上げたもの。賀津雄もこれで三本目、そして初めて巨匠にビシビシやられて喜んでるようだ。彼の恋人役の雪代敬子が『実際には賀津雄さんより年上なんで困るわ。十六、七の娘の感じを出さなきゃならないのよ。カマトトに見えたらいけないしね』とボヤいていた。

スターのいる町
麻布界隈（その四）
『文化歌謡学院』の新看板
後進の指導に乗出した青葉笙子

麻 布というところは、どうやら歌い手さんにご縁のある土地らしく、本村町にも現在マーキュリー・レコードのドル箱歌手として音にきこえた青葉笙子が住んでいる。

麻布四ノ橋で都電を降りて、パピリオの工場を目当てに行けばすぐわかる仕掛けになっているが、

青葉笙子といえばなんといってもいまは亡い上原敏との『おしどり道中』その他の名コンビが有名。青葉という芸名は、彼女の故郷が仙台でそのふるさとを忘れたくない

というところから青葉城の青葉をとったという奥ゆかしいところもある彼女である。大正七年生れというからもういいトシだが、なにぶん所属しているマーキュリーそのものがパッとしないので、このところいささか沈滞気味なのは惜しい。という訳でもあるまいが、この本村町の家にこの月半ばから『文化歌謡学院』という木の香も新しい看板がかけられた。つまりお弟子さんを集めて歌の指導をしようという訳。大いに繁昌して、門前市をなす日の近からんことを祈っておこう。

ぐ っと飛んで麻布今井町にいくと、ここにはNDT出身の踊り手清水秀男がいる。なんでもこの家にはもと市村ブーちゃん（俊幸）がいたのだが、ラジオやテレビで稼いだブーちゃんが渋谷に家を新築したため、当時池袋のアパートにくすぶって部屋を探していた清水夫妻に譲ったというのだそうだ。都電は今井町下車。彼もNDT野球部のキャプテンで、三塁を守り、四番を打つという典型的スラッガー。最近は振付けの面でもなかなかいい仕事ぶりをみせている。因みに夫人は元NDTの柳川敏子さんで、モチロン舞台と楽屋で咲いたロマンスに実を結ばせたベター・ハーフである。

このすぐ近くが麻布谷町で、ここには通称カンちゃんこと神田ユミがいる。戦前の松竹楽劇団から振出しのストリッパーだ。芝居がいけて踊りがいけるという逸材だが、公園劇場がストリップ興行をやめて以来は家に落着いていないらしい。彼女の後は[illegible]

ハ ダカ商売ついでにもう一人、広尾橋の近くにマヤ鮎川がいる。NDT出身の舞踊手柴田正男と別れてヌードからも足を洗うといっているという説もあったが

その気易さから悠々閑日月をたのしんでいるらしい。

三河台付近、つまり六本木の俳優座の建っているあたりは、すでに前回に登場しているが、その三河台に灰田勝彦がしばらく住んでいたことがある。彼が世田谷の家から現在の上目黒の新宅へ移る間の約半年ぐらいだが、せまいからか、環境がよくなかったからか、とにかく灰田夫人がとてもこの三河台の家を嫌って、早々に上目黒に越したんだという説もある。これはあまりアテにならない。

氏は最近ラジオやテレビで売出して来たコメディアン南利明で、二人が仲良く歩いている図は以前から浅草や麻布界隈でよくみられたものだ。なお彼女の家の窓からは櫻坂町に住む関千恵子の家の二階がマル見えなんだそうだ。

【次回は来週土曜日、麻布界隈その五】

写真　青葉笙子　清水秀男　神田ユミ　マヤ鮎川

名歌都々逸

石井きんざ選

電話じゃ怒るが逢いさえすればそうかそうかのたあいなさ　江東橋・猿谷三十越

あんな男のどこ良いなどと世間の鬼がする噂　市川・川崎火呂志

逢えるその日を指折り数えセーター編む手がはずむ夜　文京・木村いつ秋

顔が悪けりゃ気立が良いぞ見てくれ優しいうちの奴　浦和・尾迫通夫

思い切るよな恋ならしない恋にはあたしは命がけ　湯本・竹本喜美太夫

◇

別れきわクイズみたいに教えてくれぬ都内に居るよといっただけ　選者

はと笛

▽…さいきん玉川勝太郎が発心して『浪曲家もこれからは手付きや身ぶりで、真に迫った表現をするため踊りの素養が必要』と日本舞踊を習いはじめ、さすがは勉強家だと大評判。

▽…これにシゲキされて、このところ勝太郎門下一同へなにがなにして……の勉強と一緒に、踊りのけい古に熱中。勝太郎これを横目で見ながら『この分じゃ、いまに浪曲舞踊大会でもやらなきゃ』とホクホク。

【写真は玉川勝太郎】

◇女義太夫会　十二月一日から四日まで五時、本牧亭。綾朝、駒龍、佳照、土佐広など出演。語り物は『八陣』『鳴戸』『壺の井』『寺子屋』『合邦』『新口村』『岸姫』など。

◇転居　天津羽衣はこのほど豊島区駒込一の二一四へ移転（電94七〇一八）

今晩のラジオ　26日（土）

時	★NHK第1★ 590KC	★NHK第2★ 690KC	★ラジオ東京★ 950KC	★日本文化★ 1130KC	★ニツポン★ 1310KC
6	00 子供のシンブン◇カルメン組曲（ビゼー作曲） 40 スポーツだより	05 英語会話　松本亨 15 記者手帖から 30 ピアノ独奏　渡辺千世	10 東西こぼれ話　高野アナ 15 コンサート　南十字星 25 ぴよぴよ大学　司会河井	00 劇『少年宮本武蔵』 10 劇『平将門』高橋昌也他 25 音楽◇都民のマイク	00 リズム・ア・ラ・カルト 30 メロデイの泉 30 LFミュージツクホール
7	00 ニュース◇天気予報 30 婦人議員二十の扉　山下春江　中山マサ他	00 映画音楽　解説清水光雄 30 青年学級の友へ『新生活運動をめぐつて』	10 録音ニュース 20 ホームソング　奈良光枝 30 どうしまシヨウ　小野田	00 録音ニュース 10 歌　イヴ・モンタン他 30 浪曲『平手造酒』勝太郎	00 ラジオ夕刊（耳の新聞） 20 花のステージ歌山本芳成 30 劇『お嬢さん女中』
8	00 懐しのメロデイ『昭和篇』松田トシ　川田孝子　伴久美子　三木鮎子他 30 とんち教室　小川哲男他	05 サンサンース作曲『夜』名古屋放送合唱団 20 音楽の花束　イレーヌ他 45 スポーツシヨウ	00 コメデイ『花嫁募集中』森繁久弥　草笛光子他 30 浪曲『次郎長伝』荒神山（十五回）広沢虎造	00 素人ジヤズのど自慢　司会水の江滝子 30 ユアヒツトパレード『エデンの東』他	00 フライングメロデイ『ラメール』他　ゲスト安西 30 いづみシヨウ　雪村いづみ　千葉信男　松島トモ子
9	00 ニュース解説　藤瀬五郎 15 浪花節『磯川兵助功名噺』東家浦太郎 40 時の動き	00 邦楽鑑賞会『箏の今昔』話岸辺成雄　筑紫箏村井礼子　京極流雨田光平　山田流岸辺美千賀他	10 歌謡曲　岡晴夫　若山彰　美空ひばり　奈良光枝 40 劇『雷電』佐野浅夫　来宮良子　本郷秀雄他	00 松竹新喜劇『パパの青春』渋谷天外他 30 劇『この世の花』丹阿弥谷津子　山岡久乃他	00 劇『太郎行くところ』小宗博　司葉子　大川太郎他 30 新国劇傑作集『月形半平太』辰巳柳太郎水戸光子
10	00 ニュース◇天気予報 15 落語　古今亭今輔 40 今週のニュース特集	00 高等学校講座①解析　佐藤忠②落語　梶木隆一 45 気象通報	05 今日のニュース（朝日） 15 『大谷崎の笑談』 30 星のまたたき（音楽）	00 大学受験実力養成講座　英文法　野原三郎 30 国語（古文）富倉徳次郎	00 歌謡曲　歌三橋美智也　春日八郎　若原一郎　津村謙 35 スポーツカレンダー
11	10 NHKだより 20 菊の別れ　三宅周太郎作	00 家庭と学校『子供のノイローゼ』品川不二郎	10 音楽の星座『古典交響曲』第一管弦楽団	00 DXニュース　福士実 20 夜のハーモニー	00 唄ごよみ　春日とよ他 15 週間ニュース解説

テレビ

★NHK★ ◆6・00 親子クイズ◆6・30 今晩わメイコです◆7・10 NHK週間ニュース◆7・30 フアイアストーン管弦楽団◆8・00劇『追跡（芸術祭参加）』◆9・25 秋の美術総決算

★NTV★ ◆6・00 劇『雲の上のお人形』◆6・15 趣味の手品教室◆6・30 素人のど競べ◆7・30 なんでもやりまシヨウ◆8・00 プロボクシング実況◆9・30 ホームトピツクス

★KR★ ◆6・00 映画『ケニア大草原』◆6・35 サザエさん◆7・00 落劇『子は鎹の巻』◆7・30 お楽しみ劇場◆8・30 映画『音楽一家』◆9・10 探偵劇『日真名氏飛び出す』